

## NEWSLETTER #142

日本ポピュラー音楽学会

vol. 37 no. 3 Oct 2025

p.1 第 37 回 日本ポピュラー音楽学会年次大会 JASPM37 開催のお知らせ .....吉光 正絵

## Information

p.5 事務局より 会員動静

第 37 回日本ポピュラー音楽学会年次大会  
JASPM37 開催のお知らせ

## 【ご挨拶】

## 大会実行委員長 吉光正絵

2025 年の JASPM 全国大会は、12 月 6 日（土）および 12 月 7 日（日）に、長崎県立大学シーボルト校にて開催されます。第 37 回を迎える本大会は全日程対面開催とし、1 日目（12 月 6 日）午後に個人発表～総会～懇親会、2 日目（12 月 7 日）午前にワークショップ、午後にシンポジウムを予定しています。

## ・会場へのアクセス

第 37 回大会における会場へのアクセスおよび宿泊に関する詳細は、大会公式ウェブサイトの「大会会場へのアクセス」をご参照ください。

[https://jaspm37.s0n19u3.com/?page\\_id=22#access](https://jaspm37.s0n19u3.com/?page_id=22#access)

第 37 回大会の会場である長崎県立大学シーボルト校（長崎県西彼杵郡長与町まなび野 1-1-1）へは、JR 長崎駅を起点としたアクセスが便利です。遠方からお越しの際も、新幹線・飛行機・高速バスをご利用のうえ、まず JR 長崎駅を目指してください。

JR で移動の場合、長与駅が最寄りですが大学まで

徒歩 15 分以上かかるため、電車利用は推奨されません。JR 長崎駅前長崎バス停留所より、下記のいずれかの方法でおこしください。

- ・まなび野經由本川内（琴の尾登口）行・サニータウン經由緑ヶ丘団地行のいずれかに乗車し「県立大学シーボルト校」にて下車。
- ・長与ニュータウン行に乗車し「商業入口」にて下車後に徒歩。
- ・女の都団地行に乗車し「日当野尾」にて下車後に徒歩。

タクシー利用の場合、JR 長崎駅からシーボルト校までは、約 20～25 分です。複数名で乗り合わせるとリーズナブルで、会場までスムーズに移動できます。

長崎市中心部からは、路面電車で住吉まで移動し、そこからバスやタクシーに乗り換える方法も、地元ではよく利用されています。住吉からのバス便も多いです。

## ・宿泊のご案内

第 37 回大会にご参加の皆さまには、長崎市内でのご宿泊をおすすめいたします。会場の長崎県立大学シーボルト校へは、タクシーでの移動や JR 長崎駅からのアクセスが基本となりますので、長崎駅周辺に宿を取られると便利です。

特に以下のエリアが利便性の高い宿泊先として

推奨されます。

・【長崎駅周辺】新幹線・在来線・空港リムジンバスなど各交通機関の起点であり、学会会場へのアクセスの拠点となります。移動時間を短縮したい方に適しています。

・【大波止（おおはと）エリア】長崎港に面した地域で、路面電車やバスの便が良く、飲食店も多いため利便性の高いエリアです。観光や交流の拠点としても便利です。

・【銅座（どうざ）エリア】長崎市中心部に位置し、飲食・観光スポットが集まっています。夕食や懇親会後の移動にも便利で、参加者同士の交流を深めやすい立地です。

上記いずれのエリアからも、JR 長崎駅を経由して学会会場への移動が可能です。各自のご希望に合わせてご宿泊先をお選びください。

#### ・【住吉（すみよし）エリア】

学会参加や発表を中心に考える際に、安心して滞在でき利便性も高いエリアです。長崎大学の学生街に位置し、イオンなどの大型スーパーや学生向けの飲食店が数多くあります。

#### ・昼食のご案内

【風の森まなびの】（県立大学シーボルト校バス停前）カフェ、パン屋、スイーツショップが揃った複合施設です。特にカフェは人気が高いため、事前予約をおすすめします。公式サイトはこちら  
(<https://manabino.jp/>)

【その他の選択肢】商業入口バス停前には「セブン-イレブン長与まなび野店」、近隣には「ほっともつと 県立大学シーボルト校前店」があります。また、徒歩 5 分ほどの距離にスーパーが 2 軒ありますが、道中に坂道がありますのでご注意ください。日当野尾バス停からバスで 10 分の距離に飲食、休憩ができる道ノ尾温泉があります。

#### ・参加申込および参加費の支払いについて

大会に参加するためには

- (1) ウェブからの参加申込
- (2) 参加費の振込

以上の 2 つの手続きが必須です。今大会の参加費支払い方法はゆうちょ口座への振込のみです。後述

するように、今回の大会では、総会終了後、大学から懇親会場へは貸切バスでの移動となりますので、バスの乗車人数を事前に確定する必要があります、参加者のスムーズな移動のために、事前申込・事前振込を強く推奨します。事前の参加申込があっても振込での支払いが確認できない場合、または当日受付での支払いとなった場合、懇親会会場へはタクシーやレンタカーなど自力で移動していただくことになりますので、くれぐれも事前の参加費支払いをお忘れなきよう、ご留意ください。

#### (1)ウェブからの参加申込

<https://forms.gle/Mz1YK6BvLe6y1a3V9>

まずは上記 URL にアクセスし、大会参加・懇親会参加に関しての回答をお願いします。年に一度の総会の委任状も兼ねておりますので、大会不参加の方もアクセスしていただき、総会への議決権委任をお願いいたします。

ウェブからの申込〆切は「11 月 21 日（金）」（厳守）です。貸切バスの予約のため、人数の事前確定が必要ですので、〆切は必ず守ってください。これ以降の申込が行われた場合、懇親会会場への移動をタクシーやレンタカーなどでご自身にて行っていただく必要があります。

#### (2)参加費の振込

##### ・支払い方法

大会参加費・懇親会費の合計額を、以下のゆうちょ銀行振替口座に入金して下さい。

**【注意】学会本部の口座とは異なります！**大会参加費を大会実行委員会の口座ではなく、学会費などを納入する学会本部の口座に誤って振り込み、大会参加時にトラブルになるケースが目立ちます。大会参加費は、必ず下記の大会実行委員会の口座に振り込むようにしてください。

なお事前振込の受付〆切は「11 月 21 日（金）」（厳守）です。払込・振込通知の名義は個人（会員）

名でお願いします。

＜現金または自身の「ゆうちょ口座」から送金する場合＞

加入者名：日本ポピュラー音楽学会大会実行委員会  
(ニホンホ° ヒ° ュラーオンカ° クカ° ッカイト  
イカイシ° ッコウイ)

ゆうちょ銀行振替口座 (記号・番号)：00290-8-  
105674

＜ゆうちょ銀行以外の金融機関から送金する場合＞

加入者名：日本ポピュラー音楽学会大会実行委員会  
(ニホンホ° ヒ° ュラーオンカ° クカ° ッカイト  
イカイシ° ッコウイ)

【店名】 ○二九 (ゼロ ニ キュウ)

【預金種目】 当座

【口座番号】 0105674

※送金に係る手数料は各自でご負担くださいますよう、お願いします。振り込まれた参加費・懇親会費は、大会を欠席された場合でも返金出来ませんのでご承知おき願います。

#### ・大会参加費

##### 【一般会員】

事前振込：3,000 円／当日：4,000 円

##### 【学部生・院生会員】

事前振込：2,000 円／当日：3,000 円

##### 【非会員】

(当日受付のみ) 4,000 円

シンポジウムのみ参加：(一般) 1,000 円 (院  
生・学生) 無料

#### 懇親会費

##### 【一般会員】

事前振込：8,000 円／当日：10,000 円

##### 【学部生・院生会員】

事前振込：4,500 円／当日：10,000 円

##### 【非会員】

(当日受付のみ) 10,000 円

今回の大会の懇親会費は例年に比べやや高額となっておりますが、それには理由があります。郊外

に立地する大会会場からの交通手段の少なさなどの諸状況を鑑み、大学構内で懇親会を行ったあと、大会参加者の宿泊先への交通手段確保が極めて困難になるだろうと実行委員会は判断しました。その対応のため、送迎バスの利用による長崎市内中心地に近い稲佐山観光ホテルでの懇親会を開催することとしたものです。ご了承くださいましたら幸いです。

その代わりに、懇親会場からは日本三大夜景の一つに数えられる長崎市内の美しい夜景が一望できます。長崎在住の実行委員の尽力により、ホテルでの懇親会であるにもかかわらず格安で便宜を図ってご提供いただいています。ご理解をいただければ幸いです。

1 日目の総会終了後の時間になりますと、大学付近の路線バスの本数は極度に少なくなります。そのため懇親会場へは送迎バスで移動することになりますので、総会終了後速やかにスタッフの指示に従ってご乗車ください。また、懇親会終了後はバスにて長崎駅および中心街である思案橋付近まで送迎します。各々二次会などをお楽しみください。

#### ・託児補助について

日本ポピュラー音楽学会では、大会に参加するため託児施設(サービス)を利用した会員に対し、費用の一部を補助します。詳細は下記 URL にアクセスしてご確認ください。 <https://www.jaspm.jp/?p=2895>

#### 【大会プログラム (暫定版)】

##### 12月5日 (金)

###### ・理事会

###### ・前夜祭 (ウェルカムパーティ)

会場：ミュージックバー・パラノイア

住所：長崎県長崎市万屋町 5-36 さくらビル 3 階

参加費：現地にて支払い

開始時間未定 (大会ウェブサイトで告知します)

##### 12月6日 (土)

12:00 開場・受付開始

13:00～16:50 個人発表

**個人発表 A 前半：13:00～15:00**

- A1. 加藤夢生（東京大学大学院総合文化研究科）  
機械学習時代の技術的複製：汎化・過学習概念に着目した音楽事例分析
- A2. 夏目雅矢（九州大学大学院芸術工学府修士課程）  
ゲーム音楽の情景と移り変わりに合わせた音楽作り
- A3. 肥後楽（大阪大学社会技術共創研究センター）  
音楽生成 AI をめぐる社会的懸念と期待 — 2024 年パブリックコメントの分析から
- A4. 谷口文和（京都精華大学）  
1990 年代後半の DTM におけるデジタルオーディオの受容

**個人発表 B 前半：13:00～15:00**

- B1. アニータ・ドレックスラー（大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程）  
「アジア」におけるニューミュージックと J ポップの形成
- B2. 加藤 賢（目白大学メディア学部メディア学科）  
シティポップ・リバイバルはいかに語られていくべきか — 日本ポピュラー音楽史における位置づけ
- B3. 伊原隼人（私的音楽同好会）  
キャラクターソングの源流：1963-1986 年放映の TV アニメ内でキャラクター役声優が歌う楽曲に着目して
- B4. 安來茉美（関西大学大学院社会学研究科メディア専攻博士前期課程）  
1980 年代日本ポピュラー音楽における〈フランス〉的なもの～高橋幸宏と大貫妙子を中心に～

**個人発表 C 前半：13:00～15:00**

- C1. 鈴木岳志（東京外国語大学大学院博士後期課程）  
ブラジルポピュラー音楽史の複数性：サンパウロのショーロに着目して
- C2. 小栗宏太（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）  
その歌詞の〈作者〉とは誰か：香港広東語流行歌における専業作詞家の役割
- C3. 林 志津江（法政大学国際文化学部）

融和というマージナル

ードイツ移民ラップにおける「日本人」というエスニシティがもたらすもの—

- C4. 柴台 弘毅（埼玉学園大学人間学部）  
終戦直後における盆踊り復興活動とヒット曲 — 新作盆踊り「ヘイワ・オンド」を事例に

**個人発表 A 後半：15:20～16:50**

- A5. 劉 璽鵬（大阪大学大学院人文学研究科博士前期課程）  
ノイズ・パフォーマンスにおける感覚経験—非常階段の事例研究
- A6. 永田幹人（早稲田大学大学院文学研究科表象・メディア論コース博士後期課程）  
1984 年日本のヘヴィメタル観—音楽雑誌『Music Life』と『BURRN!』の接続—
- A7. 岸本寿怜（大阪大学大学院人文学研究科芸術学専攻博士前期課程）  
誰がフュージョンをつくったのか？—『ADLIB』から「New Sounds」の実相を明らかにする—

**個人発表 B 後半：15:20～16:50**

- B5. 大村 隆景（武蔵大学博士前期課程）  
ロックの世論概念について — 擬似環境としての“らしさ”再考—
- B6. 星川彩（大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程）  
女性シンガーソングライターとポストフェミニズム
- B7. 宮島亮（東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程）  
ライブ空間における身体性の相対化と再編  
——インタビュー調査からみる技術実践と体験様式の変容

**個人発表 C 後半：15:20～16:50**

- C5. 米田英智（社会構想大学院大学）  
日本のレコード会社に所属する A&R の業務実態と分業化について
- C6. 中尾莞爾（武蔵大学大学院博士前期課程）  
TikTok における「バズ」現象の実態と「ミュージックド (-ed)」-「Buzz Tracker」を事例に
- C7. 北島拓（大阪大学大学院博士後期課程）

音楽実践による近代建築の保存活用とコミュニティの形成 ―旧グッゲンハイム邸を事例に―

総会: 17:10～18:20

送迎バスによる会場移動（懇親会申込者のみ）

:18:30-19:20

懇親会: 19:30～21:30

稲佐山観光ホテル（長崎県長崎市曙町40-23）

（終了後、長崎駅前・思案橋までバス送迎）

12月7日（日）

9:30 受付開始

10:00～12:30 ワークショップ

ワークショップ A

ライブハウス研究をアップデートする

発表者：宮入恭平（立教大学／会員：コーディネーター）、  
小林篤茂（駒澤大学／会員）、竹田恵子（東京外国語大学／  
非会員）

討論者：太田健二（甲南女子大学／会員）

ワークショップ B

ポピュラー音楽研究と音楽学研究：学会と領域の関係性を  
めぐる

発表者：西田紘子（九州大学／会員：コーディネーター）  
小川博司（関西大学名誉教授／会員）、増田聡（大阪公立  
大学／会員）、大寫徹（玉川大学／会員）、小川将也（九州  
大学／非会員・日本音楽学会）

討論者：忠聡太（福岡女学院大学／会員）

\*日本音楽学会西日本支部第67回特別例会との共催

#### ・発表者への注意

発表用のPC等をご持参ください。HDMIケーブル  
で接続し、映像や音声を投影できます。USBタイプ  
Cなどの変換コネクタが必要な方はご自身で持参し  
てください。

14:00～17:00 シンポジウム

ライブミュージックと社会貢献

基調講演：村上和彦（エフエム長崎代表取締役社長／スカ  
イジャンボリー統括プロデューサー）

パネリスト：永富真梨（関西大学）、永井純一（関西国際  
大学）、南田勝也（武蔵大学）

17:10 閉会挨拶

### ◆information◆

#### 事務局より

#### 1. 登録情報に変更が生じた場合について

所属・住所・メールアドレスなどの登録情報に変更が生  
じた場合、できるだけ早く SMOOSY（会員マイページ）  
にログインし、ご自身で修正作業を行ってください。変更  
がない場合、学会誌や郵便物、メールニュース、例会のお  
知らせがお手元に届かないなどの事態が生じるおそれが  
ございます。修正項目の入力の際には、入力内容にお間違  
えがないようご注意ください。

#### 2. 退会の届け出について

本会の退会を希望される場合、速やかに学会事務局  
([jaspm.jimukyoku@gmail.com](mailto:jaspm.jimukyoku@gmail.com)) までお知らせください。

#### 3. 会費請求と学会誌について

2025 年 4 月に、学会誌 Vol.28 (2024)を会員の皆様のお  
手元にお届けしました。なお、学会誌は前年 (2024 年)  
度の会費納入者にお送りしています。会費納入をしたに  
も関わらず、学会誌が届かない場合には、入れ違いや何ら  
かの手違いが発生している可能性がありますので、お  
手数ですが事務局までご一報ください。

#### 4. ニュースレターについて

本紙のバックナンバーについては JASPM ウェブサイト  
のニュースレターのページに掲載されています (URL：  
[https://www.jaspm.jp/?page\\_id=213](https://www.jaspm.jp/?page_id=213))。

#### 会員動静

## ■入会者

辻井 貴子

Chie zo (相愛大学音楽学部音楽学科)

湯浅 正敏

中尾 莞爾 (横浜市立大学国際教養学部国際教養学科)

大江田 信 (東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科)

井樋 菜月 (九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻音響設計コース修士課程)

中川 遊太

山内 信明 (東京大学人文社会系研究科社会学研究室)

荒井 柚月 (筑波大学情報学群情報メディア創成学類)

鮎川 ばて (東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻)

LAO Qi (大阪大学人文学研究科日本学専攻)

甲斐 亮 (Sonicwave)

須藤 拓哉

塚田 悠斗

小島 剛 (大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻)

経 倫

手塚 透徹 (立命館大学大学院文学研究科日本文学専攻)

加藤 美香

伊藤 良平

高田 聖佳 (国際基督教大学教養学部アーツ・サイエンス学科)

安来 茉美 (関西大学社会学研究科メディア専攻博士前期課程)

堤坂 智之 (フリーランス)

信田 知成 (立教大学大学院社会学研究科社会学専攻)

谷口 政弘 (大阪大学大学院博士後期課程人文学研究科芸術学専攻音楽学)

石橋 若奈 (昭和音楽大学大学院修士課程音楽芸術運営専攻音楽と文化)

小寺 未知留 (立命館大学文学部国際文化学域)

進士 知雅 (大阪大学大学院人文学研究科芸術学専攻音楽学研究室)

大谷 武文

澤野 弘文

篠田 ミル

島村 一平

白井 雅人

高増 明

富田 英典

松井 拓史

松村 洋

山崎 翔

山本 創

若宮 花瑛

和田垣 究

胡 佳芮

堀田 夏菜

染谷 留花

藤川 翼

林 夏木

宮津 聡大

\*2024年第3回理事会以降承認分。敬称略。

JASPM NEWSLETTER 第142号

(vol. 37 no. 3)

2025年10月21日発行

発行：日本ポピュラー音楽学会 (JASPM)

会長 南田勝也

理事 日高良祐・増田聡・永井純一

永富真梨・大鷲徹・太田健二

輪島裕介・安田昌弘

学会事務局：

〒606-0016

京都府京都市左京区岩倉木野町137

京都精華大学メディア表現学部

安田昌弘研究室内

jaspm.jimukyoku@gmail.com (事務一般)

jaspmkk@gmail.com (ニューズレター関係)

<http://www.jaspm.jp/>

振替：

00160-3-412057 日本ポピュラー音楽学会

編集：増田聡・大鷲徹

## ■退会者

荒木 円博

伊藤 敏明

伊奈 正人